



ひとり親家庭総合相談窓口を開設します

～ひとり親家庭自立応援プロジェクトを本格始動～

と き	6月1日(木)開設	と ころ	区役所本庁舎 10階(豊玉北6-12-1)
ホームページ	ひとり親家庭支援ナビ https://nerima-hitorioya.jp/		
<p>区は、来月1日、ひとり親家庭の様々な相談に応じる総合窓口を開設する。</p> <p>窓口は、多くのひとり親家庭が訪れる児童手当受付窓口に隣接して設置。ファイナンシャルプランナーやキャリアカウンセラーなどの専門職を常時2名配置する。自立に向けたプランを作成するなど、各家庭の事情に応じて「生活」「就労」「子育て」の3つの支援策を組み合わせた専門支援を行う。土曜や夜間も予約制で相談に応じる。</p> <p>プロジェクトの一環として、新たに家庭訪問型学習支援事業を開始。また、ホームページ「ひとり親家庭支援ナビ」を開設。メールマガジンの配信も行い、各種支援事業の情報を提供するなど、ひとり親家庭への相談支援体制を強化する。</p>			

【ひとり親家庭相談窓口】

区役所本庁舎 10階(児童手当受付窓口隣接)

相談時間：平日 午前8時30分～午後8時(午後5時15分以降は要予約)

第2・4土曜 午前10時～午後4時(要予約)

【家庭訪問型学習支援事業について】

内容：学習支援員が訪問し、学習の支援と併せ、子どもに寄り添った悩み相談・生活支援を実施

対象：児童扶養手当を受給または同様の所得水準であるひとり親家庭のうち、小学4年～中学2年生の児童のいる家庭

訪問期間：8月～来年3月の月3回、計24回(1回2時間)

定員：30世帯(面接のうえ決定)

(株)学研エデュケーショナルに委託して実施。

【参考】ひとり親家庭ニーズ調査について(平成28年度に実施)

対象：児童育成手当を受給している5,977世帯(回答数2,585世帯、回答率43.2%)

調査結果(主なもの)

(1) 区の相談支援体制について

- ・窓口を訪れやすくなる方法として、70%の方が「土日祝日の窓口開設」を希望
- ・区の支援事業を知っている方は、50%未満。28%の方が「一つも知らない」と回答

(2) 生活面について

- ・養育費の取り決めがない家庭が51%(うち30%が「まとめ方がわからない」と回答)
- ・経済的な悩み：42%の方が「子供の塾・習い事」、40%の方が「家賃負担」と回答
- ・生活上の悩み：55%の方が「自分の健康」と回答、非就労者の30%は「孤立感」と回答

(3) 就労について

- ・59%の方がひとり親になってから就職・転職を経験(転職理由は「賃金が安い」が64%)
- ・就職活動上の課題として、35%が「資格」「技能・経験」、22%が「学歴」と回答
- ・49%の方が「資格取得を希望」と回答(希望順は、社会福祉士、看護師、保育士)

(4) 子育てについて

- ・子ども・子育ての悩み：57%の方が「進学」、49%の方が「しつけ・教育」と回答
- 40%の方が「コミュニケーション不足」と回答
- 30%の方が「子どもと一緒に夕食をとれない」と回答
- 15%の方が「悩みを気軽に話せる相手がない」と回答